

岡谷商工会議所（長野県）に事務局を置く岡谷TMOはこのほど、まちづくり事業「Park Design Lab@童画館通り」を開催した。同事業は、学生や若手社会人を募り、中心市街地にある屋外空間を公園のような居心地の良い場所につくり替えるもの。参加者は7月3日から4回の研修を経て、9月14日に駅前から斜めに伸びる童画館通りで空間づくりを実践した。

市内外から集まった10人の参加者は2チー

## 岡谷 まちを居心地の良い空間に 学生や若手社会人が実践



ムに分かれて、それぞれ「立ち止まりたい場所」「くつろぎ」をテーマに、人工芝、DIYでつくった椅子や机、看板などを置いて「ソトノバ」が主催する路上駐車場の小さな公園に変える事業「Park Design Lab@童画館通り」を開催した。度から独自の取り組みとして進めてきたもの。同所担当者は、岡谷TMOでは、中心市街地活性化に向けた取り組みを継続しているが、同事業は地域住民やまちづくりに興味のある人にも取り組むに開きがある。まちがどのように変わりたいのかを考え、それを自分の手で実現するというプロセスを体験してもらうことで、岡谷市を会場に自分ごととしてまちづくりに取り組みきかかけられればと思っただけに、23年」と話している。

人工芝の上で談笑する参加者たち

同事業は、2022年に公共空間の場づくりの調査研究・設計などを行っている団体「ソトノバ」が主催する路上駐車場の小さな公園に変える事業「Park Design Lab@童画館通り」を開催した。度から独自の取り組みとして進めてきたもの。同所担当者は、岡谷TMOでは、中心市街地活性化に向けた取り組みを継続しているが、同事業は地域住民やまちづくりに興味のある人にも取り組むに開きがある。まちがどのように変わりたいのかを考え、それを自分の手で実現するというプロセスを体験してもらうことで、岡谷市を会場に自分ごととしてまちづくりに取り組みきかかけられればと思っただけに、23年」と話している。